

人はみな、
生かされて
生きてゆく。
更生保護ネットワーク



薩摩保護区保護司会 広報紙

2024(令和6年)

8月

第10号

保護司会だより

編集・発行：薩摩保護区保護司会 薩摩川内市・さつま町 薩摩川内市大小路町14番5号（薩摩川内市中央公民館内） ☎0996-41-6196 FAX 0996-41-6196

薩摩保護区更生保護



薩摩保護区保護司会
会長 田中 実
たなか むのる

薩摩保護区保護司会は薩摩川内市とさつま町を活動地域としていて、北・南・東・西・さつまの5支部と、総務・研修・社会貢献・協力組織の4部会があります。定数は86名。本年10月には新たに4名の新任保護司を迎える予定ですが、現在84名で活動しています。

薩摩保護区には「薩摩保護区保護司会」・「川内更生保護女性会」・「さつま町更生保護女性会」・「川内BBS会」が更生保護保団体としてあります。

保護司は非常勤の国家公務員という立場で、犯罪や非行をした人たちの立ち直りを手伝うことと犯罪予防活動を主な仕事とし、ボランティアとして活動しています。

更生保護女性会は、地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行のある少年の改善更生に協力することを目的とする団体です。

BBS会（Big Brother and Sisters Movementの略）は様々な問題を抱える少年と兄や姉のような身近な存在として接しながら少年が自分自身で問題を解決したり、健全に成長していくのを支援するとともに、犯罪や非行のない地域社会の実現を目指す青年ボランティア団体です。

薩摩川内市中央公民館の一部を保護司会がお借りして「薩摩地区更生保護サポートセンター」を置き、この3つの団体がそれぞれの事務局として活動の拠点にしています。

更生保護の地域展開について



鹿児島保護観察所
所長 佐藤 好行
さいとう よしゆき

薩摩川内市、さつま町の皆様、日ごろから更生保護行政に御理解、御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、昨今の犯罪情勢を見ますと、刑法犯認知件数につきまして、ここ数年減少傾向にありましたが、令和4年、令和5年と続いて全国的な増加傾向を示しております。鹿児島県警察本部の統計によれば、昨年12月末の刑法犯認知件数は6,721件と前年より1,608件増加しています。ちなみに、鹿児島県における本年6月末を前年6月末の刑法犯認知件数では、昨年の3,180件に対し、本年は3,277件となっております。増え方は、落ち着いてきているようです。

刑法犯の認知件数が増えつつあるところ、保護観察所としては、昨年12月に更生保護法の二部改正があり、更生保護の地域展開に向けた、新たな組織体制作りに取りかかっているところ。その柱の二に、主任官が保護司組織の他、その地区の機関・団体からの相談窓口として機能していこうとする「地域まるごと担当」があります。更生保護に関する知見の提供が主となりますが、更生保護に関して聞いてみたいことがあります。地区主任官にお声かけいただければと思います。

犯罪や非行のない社会作りに向けて、努めて参りますので、今後とも、皆様の御協力をお願い申し上げます。

写真で見る主な諸活動

5月 薩摩保護区保護司会総会／第1期定例研修会

新年度の活動等について総会を行い、その後、定例研修会を実施しています。令和6年度は、「更生保護制度について」と、「個人情報保護及び情報セキュリティ確保について」という研修テーマで、鹿児島保護観察所の松下課長と大塚観察官から講話があり、理解を深めました。

1年間に定例研修会を3回、各支部での処遇会議等を実施しています。



7月 「社会を明るくする運動」薩摩川内市長及びさつま町長への総理大臣メッセージ伝達式

「社会を明るくする運動」は、法務省が主唱し毎年7月を強調月間として全国で展開をされています。

再犯防止に向けた取組や本運動に対して理解を求める内閣総理大臣メッセージの伝達式を薩摩川内市役所及びさつま町役場で行い、田中市長と上野町長に伝達いたしました。



9月 学校長・警察署・行政等との合同研修会・情報交換会

学校・警察・行政等と連携し、犯罪や非行のない明るい社会づくりに務めています。

薩摩川内市では田中会長、佐藤保護観察所長、藤田教育長からの挨拶、そして川薩保健所、薩摩川内警察署、川内薬剤師会、市保健福祉課様より講演をいただきました。

なお、11月にさつま支部でも合同研修会を開催し、田中会長、中山教育長様からの挨拶、そして川薩保健所、さつま警察署様より講演をいただきました。



(薩摩川内市)



(さつま町)

11月 保護司候補者検討協議会

保護司活動に対する地域の理解を深め、幅広い人材から保護司候補者を確保することに努めています。



11月 視察研修

更生保護活動に活かすために、関係更正保護施設等の視察研修を実施しています。(写真は佐賀県麓刑務所)



2月 各支部処遇会議

保護司相互の情報交換の場として各支部で処遇会議を開催し、研修・情報交換会及び懇親会等を実施しています。(写真は東支部処遇会議の様子です)



3月 第3期定例研修会

昨年度は、保護観察の「事例研究」という研修テーマで、鹿児島保護観察所の森下観察官から4つの事例について講話があり、その後、保護司どうしのグループ討議とおして理解を深めました。



※この他、対象者を受け入れるための「生活環境調整」や「保護観察面談」活動等を実施しています。

薩摩保護区保護司関係の受章者・退任・新任者

叙勲受章者

瑞宝双光章

田中 実 氏(会長)
(薩摩川内市若松町、
令和5年11月3日付)



藍綬褒章

鹿子木 努 氏
(薩摩川内市平佐町、
令和6年4月29日付)



退任者

井上 光男 氏(薩摩川内市宮里町、令和6年3月22日付)
山下 英雄 氏(さつま町宮之城屋地、令和6年3月23日付)

新任者

吉留 政和 氏(東郷町山田、令和5年10月11日付)
増田 成貴 氏(祁答院町黒木、令和5年10月11日付)
内山 小夜子 氏(薩摩川内市高江町、令和5年10月11日付)

更生保護を支える力

現在、薩摩保護区には、更生保護を支える力として、主に更生保護女性会、BBS会、及び協力雇用主会があります。
今回は、川内更生保護女性会と、薩摩保護区保護司会の社会貢献活動を紹介させていただきます。



川内
更生保護女性会
会長 家村 純子



薩摩保護区保護司会

社会貢献活動部長 村上 眞理子



「ひまわり教室」を居場所の一つに

更生保護女性会は、女性としての立場から地域の犯罪予防活動と犯罪や非行をした人達の更生を支援することを目的とするボランティア団体です。

2年間で7回開催した「ひまわり教室」は、観察所・保護司会・BBS会・草牟田寮・民間協力者等の参加協力を頂き、総勢268名での活動が出来ました。参加者の一人が「あと一か月すれば、ひまわり教室に行けると思うと頑張れる。行ったら楽しい。」とってくれました。「次はいつあるの?」と帰りに聞かれた事もありました。「今度行く所がある。」という目標や「行ったら楽しい。」という居場所があるという事は、対象者の皆さんにとってどれだけ大切な事なのかを知る事が出来ました。そんな風に感じてくれる人を一人でも多く増やせたらと思います。その為にも「ひまわり教室」を「楽しく、明るく、元気に」続けていけたらと思います。そしてそんな居場所が、県内各地にも出来るよう活動を広めていけたらと思います。

薩摩保護区保護司会社会貢献活動部の活動紹介

保護司の社会貢献活動は、犯罪や非行により刑期を終えて仮釈放、仮退院された保護観察中の人が地域社会に貢献し、立ち直ることを目的としています。

令和5年12月18日に薩摩川内市永利町の介護老人福祉施設「幸せの里」での活動を報告致します。当日は対象者(保護観察中の人)が欠席、監督(観察官2名、保護司4名)と協力者(川内更生保護女性会2名)の8名で活動しました。作業は、車いすの清掃です。「幸せの里」ではコロナ禍前より活動させて頂いています。

午前10時からミーティングをして、参加者の自己紹介と観察官より社会貢献活動の説明を受けました。その後、出されていた車いすと追加の車いすを11時30分頃まで清掃しました。最後にミーティングして午後0時に終了でした。

受け入れてくださる「幸せの里」に感謝し、今後も活動を継続していきたいと思っています。

更生保護：立ち直りを支えるしくみ

罪を犯した人たちの立ち直りを助け、再び犯罪や非行に陥るのを防ぐしくみを更生保護といいます。

更生保護ボランティアとしての直接的な支援

保護司としての支援

保護司は、刑務所や少年院から出て「保護観察」を受けることになった人などを指導し、相談にのったり、様々な支援を行う民間のボランティアです。

協力雇用主や更生保護施設の職員として支援

地域社会に復帰

住居が必要

地域との絆が必要

仕事が必要

地域の人たちの理解と協力

“社会を明るくする運動”に参加する。

刑務所や少年院、職業訓練などで作ったものを購入する。

更生保護ボランティアを支援する。

罪を犯した人の立ち直りを見守り、彼らの存在を受け入れる

更生保護女性会会員やBBS会会員として支援

令和6年度薩摩保護区保護司会役員名簿

役職名	氏 名	支部名
会 長	田 中 実	南
副 会 長	永 山 伸 一	東
副 会 長	柏 木 幸 平	さつま
事務局長 サポートセンター長	福 山 義 幸	北
会 計	加治屋 卓 朗	南
南支部長	尾 曲 祐 一	南
北支部長	大 藺 喜一郎	北

役職名	氏 名	支部名
東支部長	徳 永 幸 夫	東
さつま支部長	木 下 賢 治	さつま
西支部長	蔵 元 保 海	西
総務部長	田 島 洋 輝	東
研修部長 駐在保護司	斉 藤 治 城	北
犯罪予防部長	野 平 誠	南
協力組織部長	永 留 博 文	南

役職名	氏 名	支部名
社会貢献活動部長	村 上 眞理子	東
理 事	東 哲 雄	さつま
監 事	小田原 勇次郎	北
監 事	新 改 幸 一	さつま
事務局次長	松 下 昭 子	北

令和6年度薩摩保護区保護司会学校連絡保護司名簿

支部名	氏 名	学校連絡保護司
南	尾 曲 祐 一	隈之城小、川内南中
南	鹿子木 努	平佐西小
南	宮 田 羊 子	永利小
南	山 元 貴 代	平佐西小、川内中央中
南	加治屋 卓 朗	平佐西小、平佐東小
南	永 留 博 文	川内南中
南	野 平 誠	川内中央中
南	岩 元 ひとみ	隈之城小
南	西 一 徳	永利小
南	有 馬 貞 喜	平佐西小
南	松 元 邦 明	川内小、川内中央中
南	中 内 カ ネ	川内小
南	山ノ内 文 夫	峰山小
南	久木野 勲	永利小、川内南中
南	田 中 実	れいめい中
南	中 川 一 朗	隈之城小、れいめい中
南	軍 神 利喜男	川内中央中
南	内 田 一 樹	川内小
南	大六野 直 実	川内南中
南	桑 畑 明 斎	川内南中
南	上江川 知 美	川内小
南	堂 園 力 也	川内小
南	内 山 小夜子	峰山小

北	大 藺 喜一郎	育英小、八幡小
北	伊 東 正	育英小、川内北中
北	田 中 晴 樹	可愛小
北	福 山 義 幸	亀山小、川内北中
北	三 浦 美 幸	育英小
北	小田原 勇次郎	可愛小、川内北中
北	斉 藤 治 城	八幡小
北	松 下 昭 子	高来小、城上小、平成中
北	尻無濱 一 喜	育英小
北	亀 田 信 暁	水引小
北	大 村 恵美子	水引小、水引中
北	手 打 哲 也	水引小
北	加 藤 信 行	亀山小
北	下 園 絹 子	水引小、水引中
北	檜 木 敏 文	水引小、水引中
北	中 間 則 行	水引小、水引中
北	山 口 就太郎	可愛小
北	土器手 正 之	亀山小
北	福 永 幸 央	育英小
北	坂 元 安 夫	高来小、城上小、平成中
北	宮 田 修 一	川内北中

支部名	氏 名	学校連絡保護司
東	徳 永 幸 夫	樋脇小、樋脇中
東	大 田 純 一	樋脇小、樋脇中、市比野小
東	村 上 眞理子	市比野小、樋脇中
東	笹 森 純 一	市比野小
東	田 島 洋 輝	祁答院小、祁答院中
東	平 林 輝 美	祁答院小、祁答院中
東	石 原 稔 雄	祁答院小、祁答院中
東	羽 島 泰 建	祁答院小、祁答院中
東	増 田 成 貴	祁答院小、祁答院中
東	永 山 伸 一	東郷学園
東	山 下 浩 一	東郷学園
東	田 代 幸一郎	東郷学園
東	内 野 久 子	東郷学園
東	吉 留 政 和	東郷学園
東	水 流 信 雄	入来小、入来中
東	村 岡 文 正	入来小、入来中
東	田 島 功 輔	副田小、入来中

西	蔵 元 保 海	中津小
西	小 村 昌 治	鹿島小
西	下 江 伊八郎	海星中
西	野 島 秋 彦	里小、里中
西	中 野 力 丸	長浜小
西	野 島 孝 信	里小、里中
西	井 芹 顕 真	手打小

さつま	木 下 賢 治	薩摩小
さつま	新 改 幸 一	柏原小
さつま	久 保 敬 作	佐志小
さつま	徳 留 昇	山崎小
さつま	野 崎 華 子	宮之城小
さつま	濱 崎 典 子	盈進小
さつま	柏 木 幸 平	宮之城小
さつま	東 哲 雄	鶴田小
さつま	福 山 道 徳	薩摩小
さつま	手 塚 良 平	鶴田小
さつま	堂ノ脇 一 則	宮之城小
さつま	小 森 良 峰	薩摩小
さつま	片 山 晋 介	鶴田小
さつま	高 橋 誠 芳	薩摩小
さつま	春 山 智	盈進小
さつま	古 田 昌 也	柏原小

薩摩地区 更生保護サポートセンター(サポセン)は次の様な事に利用できます。

1. 地域住民からの犯罪・非行に関する相談の窓口
2. 地域における関係機関・団体との連絡・協議
3. その他更生保護に関する活動（ご相談下さい）

所在地 薩摩川内市大小路町14番5号（薩摩川内市中央公民館内）
 名 称 薩摩地区更生保護サポートセンター（薩摩保護区保護司会事務局）
 電 話 0996-41-6196 FAX 0996-41-6196